

年主題 「み言葉に生きる」

朝 10時半
夕 17時1. 礼拝順序

司式・奏楽 加藤真衣子牧師

前 奏

天地創造の前に、神はわたしたちを愛して、御自分の前で聖なる者、汚れのない者にしようと、キリストにおいてお選びになりました。イエス・キリストによって神の子にしようと、御心のままに前もってお定めになったのです。神がその愛する御子によって与えてくださった輝かしい恵みを、わたしたちがたたえるためです。わたしたちはこの御子において、その血によって贖われ、罪を赦されました。これは、神の豊かな恵みによるものです。(エフェソ1:4~7)

招 詞

- 讚美歌 21-459番(讚美歌一編354番)3節のみ
- 主の祈り (次のページ)
- 交読文 25 詩編103篇(別冊交読文p.28)
(讚美歌一編の交読文22ページ)
- 信仰告白 使徒信条(別冊交読文p.57)(讚美歌一編566番)
- 聖書 馬タイによる福音書9:1~8(新約p.15)
- 祈禱 説教 「神といつ、どこで出会うか」
祈禱 加藤真衣子牧師
- 讚美歌 21-303番(讚美歌二編182番)3節のみ
- 奉獻 21-65-2番(讚美歌一編548番)
- 報告
- 頌栄 21-29番(讚美歌一編544番)
- 祝禱 加藤真衣子牧師
- 後 奏

2. お知らせ

♡本日から教会学校を再開します。第一・第三日曜日の夕方4時から、礼拝だけを行います。コロナウイルスの状況を鑑みながら、行ってまいります。CSのため、お祈りください。原則として牧師が礼拝のお話や奏楽をいたしますので、礼拝堂は密集しません。教会員のどなたでも、CS礼拝にご出席いただけます。

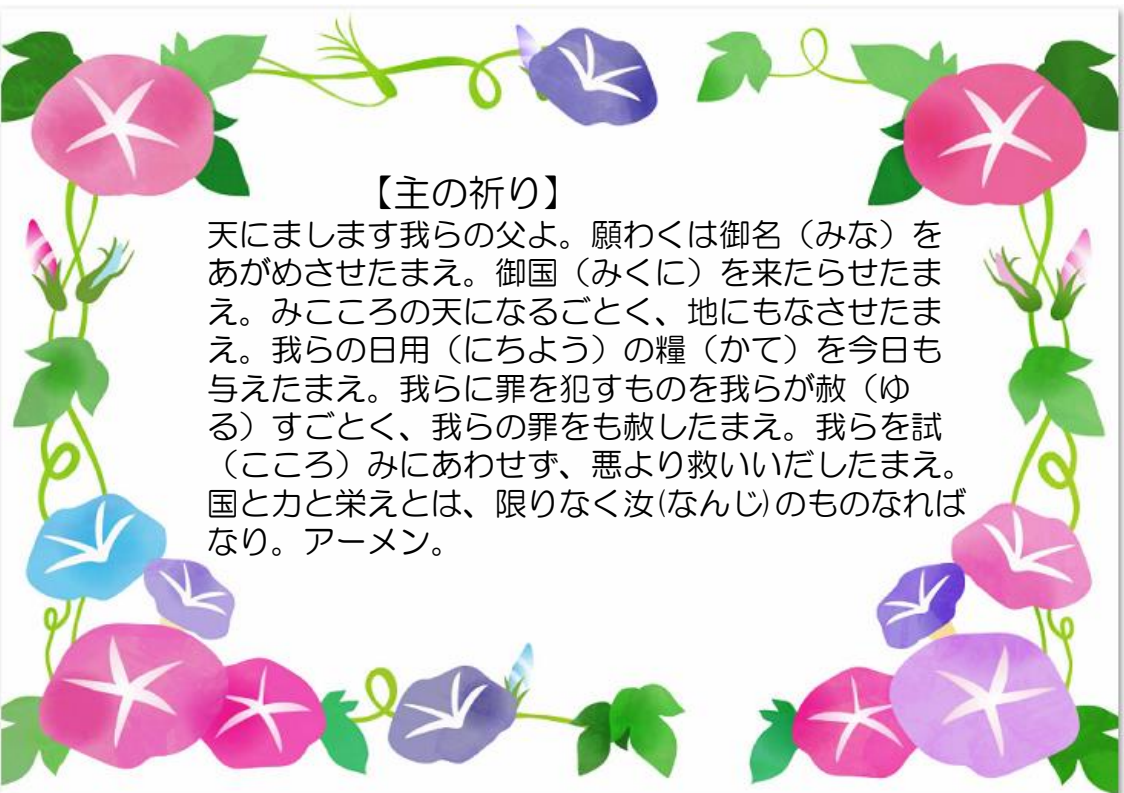
♡本日から讚美歌21-29番を礼拝の終わりの頌栄曲として歌います。本日再開のCS礼拝も同じ頌栄曲を歌います。子どもと大人の礼拝のつながりを、そしてまた「天のみ民も、地にある民も、同じ神さまをたたえる」という恵みの大きさを心にとめつつ、賛美してまいりましょう。

♡今週の木曜日(7月9日)10時から、礼拝堂にて、定例の聖書研究・祈禱会を再開します。初回は聖研は無しで、参加メンバーの近況を分かち合います。コロナの影響で自粛していた間のあれこれを分かち合い、ご一緒に祈りましょう。なお、お飲み物は教会から提供できませんので、水分補給はご自身で水筒などをお持ちくださいますように。

♡自宅礼拝の期間、教会員有志の方々が、教会のお庭の草むしりや、花壇の整備をしてくださいました。心から感謝いたします。現在、礼拝終了後、それぞれお使いになった椅子等の除菌作業をさせていただいておりますが、お志のある方は、どうか礼拝堂全体のお掃除もお願いいたします。礼拝堂を綺麗にしつつ、コロナによる困難な時期をご一緒に乗り越えてまいりましょう。

聖書 (新約聖書)マルコによる福音書15:33~47(聖書日課)

- 祈り
- コロナウイルスに感染された方々のご快復と、感染症の一日も早い収束のために。
 - 医療従事者の方々のために。
 - 子どもたち、学生たちのために。
 - 教会の諸活動のために。
 - 土地・建物資金返済献金(年間目標額:100万円)をおさげ出来ますように。
 - 教区祈りのカレンダーより祈る教会:国立教会
 - 宮寄薫牧師、北川美奈子牧師、創立1946年、現住陪餐313、礼拝出席165、祈禱会出席18、CS出席17、予算2179万。どの年代にも信仰の継承がなりますように。教会学校が祝されますように。1年後の創立75年と、新主任牧師着任に向けて良き備えができますように。



【主の祈り】

天にまします我らの父よ。願わくは御名（みな）を
あがめさせたまえ。御国（みくに）を来たせたま
え。みこころの天になるごとく、地にもなさせたま
え。我らの日用（にちよう）の糧（かて）を今日も
与えたまえ。我らに罪を犯すものを我らが赦（ゆ
る）すごとく、我らの罪をも赦したまえ。我らを試
（こころ）みにあわせず、悪より救いいだしたまえ。
国と力と栄えとは、限りなく汝（なんじ）のものなれば
なり。アーメン。

○次週主日礼拝（聖霊降臨節第七主日）
7月12日（日）10時半／17時

「キリストが来た理由とは」
マタイによる福音書9：9～13 説教/加藤真衣子牧師
招詞・ホセア11：8～9 交読文・10 詩編32篇
讃美歌 21-451、21-402、21-29
○礼拝後（13時～）定例役員会



【使徒信条（しとしんじょう）】

我は天地の造り主、全能の父なる神を信
ず。

我はその独り子、我らの主、
イエス・キリストを信ず。

主は聖霊（せいれい）によりてやどり、

処女（おとめ）マリヤより生れ、

ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府
（よみ）にくだり、

三日目に死人のうちよりよみがえり、

天に昇り、全能の父なる神の右に座した
まえり、

かしこより来たりて、
生ける者と死ねる者とを審（さば）きた
まわん。

我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、
聖徒の交わり、罪の赦し（ゆるし）、身体
（からだ）のよみがえり、
永遠（とこしえ）の生命（いのち）を信ず。

アーメン。

